

句歌集 箕作りの歌

著者：加藤かつえい 発行：デコ 定価：1,100 円（税込み）

歌詠むを生活の中の弾みとし 木屑に埋もれ今日も箕を編む

箕を売りに巡りし平野一望に 越えゆく峠朝より暑し

あえぎつゝ 藤蔓採らむと登りゆく いまだに残る雪を食みつゝ

「オエダラ箕^み」の製作・行商のかたわら、
文芸誌を主宰した秋田の歌人の遺稿集。心に染みます…。

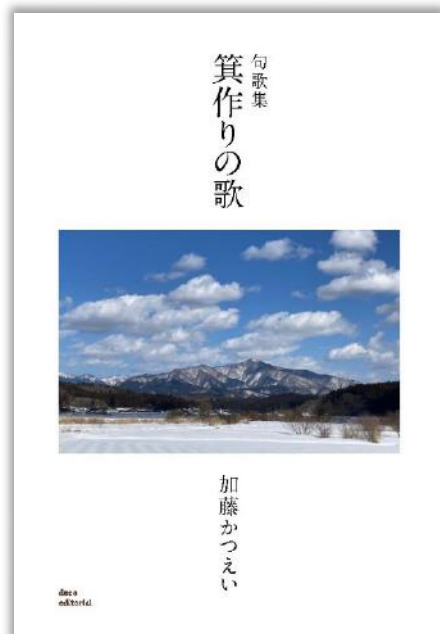
名峰大平山に抱かれた箕作りの村での暮らしを詠んだ短歌と俳句を収録。随筆も 15 編収録。行商でたびたび訪れた津軽を愛し、津軽を旅した先人——太宰治、高橋竹山、佐藤善二——に心を馳せる「小説『津軽』の足跡」「高橋竹山の歩いた道」「善二こけし」。世増と面岸の箕製作者を訪ねた「回想」など。

*オエダラ箕

著者が暮らした秋田市太平黒沢で作られる箕（農具）。当地が中世の領主大江氏にちなんで「大江平」と呼ばれたのが由来とされる。イタヤカエデを主な材料とし、「秋田のイタヤ箕製作技術」は、国指定重要無形民俗文化財。

●加藤かつえい

昭和三年、秋田市太平黒沢稲荷に生まれる。本名勝衛。昭和二十一年から「オエダラ箕」の製作と行商に従事。昭和三十七年から秋田銀行に勤務。昭和二十九年に文芸誌『いわな』を創刊、平成二十六年の終刊まで百五十号を編集・刊行。同誌に俳句・短歌・随筆を発表するとともに秋田魁新報の俳壇・歌壇に作品を発表（昭和二十九、三十年「さきがけ俳壇」推薦作家）。秋田市太平郷土史編集委員も務めた。著書に随筆集『山里春秋記』（秋田ほんこの会）など。令和 6 年逝去。写真左が著者、右は師・石田玲水。



ご注文申し込み書 貴店名/帖舎	注文数	発売：株式会社デコ
	冊	句歌集 箕作りの歌 著者：加藤かつえい 発行：デコ 四六判／並製ソフトカバー／224P 定価 1,100 円（本体 1,000 円＋10%税）ISBN978-4-906905-24-9 C0092

ご注文は（株）JRC へ FAX：03-3294-2177 （TEL：03-5283-2230）

株式会社 JRC 経由で、すべての取次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。